

★ レフリーチーム活動目的

【支援】埼玉県全体のレフリー技術向上を支援する

【継続】埼玉県全体のレフリー人口の拡大を目指す

【啓発】子供たちが、楽しく、安全にプレーでき、観客も見て楽しめる  
ミニラグビーのレフリーングとは何かを探求し、伝達する。

★はじめに・・・

日本ラグビーフットボール協会 ミニラグビー競技規定  
ミニラグビーに携わる全ての皆様へ

1. ミニラグビーとは

ミニラグビーとは、ラグビーフットボールの魅力を広く普及するために作られた、幼児・児童のためのラグビー型ボールゲームです。競技規則は、これをプレーする人たちが幼児や児童（以下子ども）である、という前提に立って制定されています。

2. ミニラグビーでの最優先事項「安全」について

プレーヤーの安全確保は最優先事項であり、大人は、子どもたちの安全を保証した上でラグビーをプレーさせる義務があります。

3. 用具について

ショルダーパットの使用は禁止します。（平成12年通達）

4. 「ノーサイドの精神」について

ミニラグビーの良いプレーは、コーチとプレーヤー、レフリーが一体となって作り上げてください。

よいコーチは良い（ミニラグビーの）レフリーになれる可能性があります。どちらも体験してラグビーに関する知見を広げてください。

レフリー・タッチジャッジは中立的立場であり、どちらのチームに対しても助言等をしてはいけません。（危険なプレー、オフサイド等の反則を予防する為の指導は除きます）。

ハーフタイムは、ハーフウェイライン付近にとどまるよう努めてください。試合が始まったら、コーチではなくレフリー、タッチジャッジとしての行動を優先しましょう。

プレーヤーに敬意を表するためにも、清潔でレフリーにふさわしい服装、毅然とした態度、親しみやすい言葉遣いと表情を意識してください。

★ルールについて

基本原則

U-12ミニラグビーの競技規則はWRが定める競技規則に準拠する。

ミニラグビーは小学生以下の子ども達を対象としたラグビー型のボールゲームです。

本競技規則は子ども達の年齢や発育段階を鑑みて、安全の確保を第一に考え、

子ども達がより安全に・よりラグビーの魅力を感じてもらえるミニラグビーを実現する事を目的としています。

競技規則 Rugby Union 2015 第6条 マッチオフィシャル  
試合はすべて、1名のレフリーと2名のタッチジャッチまたはアシスタントレフリーからなる。

■タッチジャッチ

タッチ、タッチインゴール、キックによるゴールの成否に責任を持つ

■アシスタントレフリー

合図、タッチ、タッチインゴール、キックによるゴールの成否、不正なプレーを指摘する責任を持ちレフリーの指示に従い、あらゆるレフリーの職務遂行を補佐する。

競技場内でのレフリーの職務

レフリーは、試合中においては唯一の事実の判定者であり、競技規則の判定者である。あらゆる試合において、すべての競技規則を公平に適用しなければならない。レフリーは、競技時間に全責任を有する。

・申し合わせ事項

各カテゴリーにおけるルール申し合わせについては、次の時間で行います。

・共通事項

スクラムの組み方

「クラウチ」「タッチ」「ホールド」「エンゲージ」の4段階で実施する。

危険なプレーの対応

危険なプレーに対しては、アドバンテージを取らずに直ちに試合を止め注意を促す。

※危険なプレーとは・・・

防御の際に、相手をしっかりバインドせずに振り回す行為

ボールを持っているプレーヤーを突き倒す。タッチラインの外に突き出したりする行為など・・・

★レフリーの準備

■前日まで

ジャージ・スパイク・笛を準備します。

※ジャージは担当するチームのジャージの色と異なるようにしてください。

ルールブックを熟読する

走りこみ

イメージトレーニング

■試合前

グラウンドの確認

両チームのキャプテン・コーチとの打合せ。（前の試合のハーフタイム時）

■試合開始時

両チームをグラウンドに入れます

整列させ挨拶をします

※試合開始の手順

「両チームの人数を確認」→「タッチジャッチがいることを確認」

→「ストップウォッチをスタートする」→「キックオフの笛」

## ■試合中

子供たちのプレー時間を確保します。

反則しそうなプレーヤーがいたらわかりやすいことばで促します。

### ※反則があった時

再開がスクラムのとき

「短い笛」→「ジェスチャー」→「ポイント」→「投入側を指示」

再開がペナルティキックのとき

「長い笛」→「どちらのボールか示す」→「ポイント」→「ジェスチャー」

### ※ペナルティキックの場合の注意点

攻撃側の早いリスタートがあるので、どちらのボールかを示してください。

リスタートのポイント、防御側のノット5 mの可能性もあるので明確に示しましょう。

## ■試合後

整列させ挨拶をします。

アフターマッチファンクションを行うのでプレーヤー・コーチに集合場所を伝えます。

## ★最後に

子供たちも試合を楽しんでいます。レフリングを楽しみましょう。

また、レフリングの技術向上を図る上で、目標を決めて取り組んでみてはいかがでしょうか。